

事業コード	H28-建-継-05		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	通常砂防事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防えん堤工・溪流保全工		班 名	砂防・防災班 (tel)018-860-2518
路線名等	小沢		担当課長名	河川砂防課長 小野 久喜
箇所名	湯沢市秋ノ宮字小沢		担当者名	主幹(兼)班長 阿部 透
プランとの 関連	政策コード	01	政 策 名	県土の保全と防災力強化
	施策コード	01	施 策 名	健全な県土保全の推進
	指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づくり

1. 事業の概要

事業期間	H24 ~ H29 (6年)	総事業費	2.8億円	国庫補助率	1/2																																																																	
事業規模	砂防えん堤工 1基 (H=13.0m L=61.0m)、溪流保全工 1式 (L=198.0m)																																																																					
事業の立案 に至る背景	<p>当溪流は、湯沢市小沢地区に位置し、保全対象として人家11戸、市道360m等を抱える土石流危険溪流である。平成22年7月17日の集中豪雨により当溪流の流域内では山腹崩壊・溪岸浸食が進行し、床下浸水1戸・市道が土砂埋塞する被害が発生し、地域住民が一時孤立状態となった。</p> <p>溪流内には未だに不安定土砂が堆積しているため、豪雨等により再度土石流が発生した場合には、人家・市道等に甚大な被害が発生する恐れがあることから、被害防止のための砂防施設の整備を実施する必要がある。</p>																																																																					
事業目的	土石流を砂防堰堤で捕捉し、下流域にある人家住民の生活道路でもある市道を保全し、住民の生命・財産を守り、安全・安心な地域の創出を図る。																																																																					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画 時</th> <th>評 価 時</th> <th>増 減</th> <th>理 由 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>270,000</td> <td>281,100</td> <td>11,100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>175,000</td> <td>175,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>41,000</td> <td>57,000</td> <td>16,000</td> <td>建物補償物件の増による</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>54,000</td> <td>49,100</td> <td>- 4,900</td> <td>委託費等の実績見込による減</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 国庫補助</td> <td>135,000</td> <td>140,550</td> <td>5,550</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 県債</td> <td>121,500</td> <td>126,400</td> <td>4,900</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 一般財源</td> <td>13,500</td> <td>14,150</td> <td>650</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>本工事 詳細設計 地形測量 用地測量</td> <td>本工事 詳細設計 地形測量 用地測量</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	事業費	270,000	281,100	11,100		経費					工事費	175,000	175,000	0		用補費	41,000	57,000	16,000	建物補償物件の増による	その他	54,000	49,100	- 4,900	委託費等の実績見込による減	内訳					国庫補助	135,000	140,550	5,550		県債	121,500	126,400	4,900		その他					財源内訳					一般財源	13,500	14,150	650		事業内容	本工事 詳細設計 地形測量 用地測量	本工事 詳細設計 地形測量 用地測量		
		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等																																																																	
事業費	270,000	281,100	11,100																																																																			
経費																																																																						
工事費	175,000	175,000	0																																																																			
用補費	41,000	57,000	16,000	建物補償物件の増による																																																																		
その他	54,000	49,100	- 4,900	委託費等の実績見込による減																																																																		
内訳																																																																						
国庫補助	135,000	140,550	5,550																																																																			
県債	121,500	126,400	4,900																																																																			
その他																																																																						
財源内訳																																																																						
一般財源	13,500	14,150	650																																																																			
事業内容	本工事 詳細設計 地形測量 用地測量	本工事 詳細設計 地形測量 用地測量																																																																				
事業の進捗 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全体事業費 2.8億円 ・平成27年度末投資額 2.2億円 ・進捗率 78.6% 																																																																					
事業推進上 の課題	特になし																																																																					
関連する計 画等	「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」における基本政策「県土の保全と防災力強化」において、地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づくりに位置づけられている。																																																																					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	近年は全国的に集中豪雨による土砂災害が多発しており、県内でも平成25年8月に人命を奪う大規模な土砂災害が発生している。このため、ハード・ソフト一体となった土砂災害対策基盤の整備が急務となっている。																																																																					
事業効果把 握の手法及 び効果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標 名</th> <th colspan="4">土石流の危険箇所に対する施設の概成率 (%)</th> </tr> <tr> <th>指 標 式</th> <td colspan="4">概成率=対策済箇所数/土石流危険箇所数</td> </tr> <tr> <th>指 標 の 種 類</th> <td>○ 成果指標</td> <td>● 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <th>目 標 値 a</th> <td>17.0 %</td> <td></td> <td>データ等の出典</td> <td>県河川砂防課</td> </tr> <tr> <th>実 績 値 b</th> <td>16.5 %</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>達成率 b/a</th> <td>97.1 %</td> <td></td> <td>把握の時期</td> <td>平成28年3月</td> </tr> </thead> </table>					指 標 名	土石流の危険箇所に対する施設の概成率 (%)				指 標 式	概成率=対策済箇所数/土石流危険箇所数				指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	目 標 値 a	17.0 %		データ等の出典	県河川砂防課	実 績 値 b	16.5 %				達成率 b/a	97.1 %		把握の時期	平成28年3月																																			
指 標 名	土石流の危険箇所に対する施設の概成率 (%)																																																																					
指 標 式	概成率=対策済箇所数/土石流危険箇所数																																																																					
指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																																		
目 標 値 a	17.0 %		データ等の出典	県河川砂防課																																																																		
実 績 値 b	16.5 %																																																																					
達成率 b/a	97.1 %		把握の時期	平成28年3月																																																																		

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	当溪流では山腹崩壊や溪岸侵食が発生しており、荒廃が進んでいることから、土石流発生 の危険性が高い。土石流が発生した場合は、下流の人家のみならず、当地区の生活道路で ある市道が被災する可能性が高いため、事業の必要性は高い。 また、砂防法第5条により工事の施工は都道府県が行うものと位置付けられている。	12点
緊 急 性	土砂災害危険箇所位置付けられており、過去には土石流による市道への土砂流出が発生 していることから、早急な整備が必要である。また、流域内は斜面勾配が急であり、流域 内において崩落した土砂が堆積しており、豪雨が発生した場合には土石流が発生するおそ れがあるため、緊急性は高い。	30点
有 効 性	「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の基本政策「県土の保全と防災力強化」のうち 「健全な県土保全」に位置付けられている。また土砂災害防止法に係る基礎調査を行って いることから、事業の重要性が高い。さらに、土石流溪流の整備率向上に直接寄与する事 業であり、有効性が高い。	10点
効 率 性	(費用対効果) 事業の費用対効果は3.81であり事業効果は高い。 (コスト削減の状況) 残存型枠の使用によるトータルコストの削減など、詳細設計時等各 段階において、コスト削減策の検討を行っている。	20点
熟 度	平成22年度の土砂災害により事業説明会を要望された経緯があり、地元住民の防災意識も 高く、合意形成も済んでいる。また、湯沢市でも地元要望や砂防施設の必要性について認 識しており、要望書等も提出されており、熟度が高まっている。	15点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ) 多くの項目において評価点が高く、住民の生命と財産、生活道路である市道等を守り、 県土の保全と防災力の強化を推進する上でも有効な事業箇所であるため、引き続き実施 すべきと判断できる。	87点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

引き続きコスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 砂防事業

事業コード (H28-建-継-05)
箇所名 (湯沢市秋ノ宮字小沢)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	災害発生時の影響 (被害想定)	人家戸数	20戸以上	10	7	11戸
			5戸～19戸	7		
			1戸～4戸	3		
			0戸	0		
		公共・公益施設	以下に挙げる公共・公益施設がある 災害時要援護者関連施設 重要交通 (緊急輸送道路、避難路、鉄道) 防災拠点 (警察、消防、役場等) ライフライン施設 (電力、ガス、水道等) 利用者多数 (学校、駅舎等)	10	5	市道 0.4km 小沢公民館 1ヶ所
		公共・公益施設がある	5			
	なし	0				
	計			20	12	
緊急性	災害実績					
	過去の災害発生履歴		過去に災害の発生した記録がある	5	5	H22.7
			過去に災害の発生した痕跡や情報がある	3		
			なし	0		
	災害発生の危険度					
	想定される流出土砂量		1000m ³ 以上	7	7	V=3,650m ³
			1000m ³ 未満	3		
	想定される流出流量		20m ³ 以上	6	6	V=69m ³
			20m ³ 未満	3		
	荒廃面積		流域面積の10%以上	6	6	10.8%
		流域面積の10%未満	3			
河床堆積、溪岸侵食状況		破砕帯、火山噴出物地帯、花崗岩地帯、第三紀層地帯	6	6	破砕帯、火山噴出物地帯、 花崗岩地帯、第三紀層地帯	
		その他	3			
	計			30	30	
有効性	上位計画への貢献					
	ふるさと秋田元気創造プラン		プランに関連する事業である	5	5	
			プランとは別の個別計画に関連する事業である	3		
			プラン、個別計画に関連しない事業である	0		
	ソフト対策との関連性					
	公表周知している情報の内容		土砂災害防止法に係る基礎調査	5	5	
		土砂災害危険箇所マップ等	3			
		なし	0			
	計			10	10	
効率性	費用対効果					
	B/C		1.0以上	10	10	3.81
			1.0未満	0		
	事業実施コストの削減					
	コスト削減の具体的計画		あり	5	5	残存型棒工の採用
			なし	0		
当初計画との比較						
当初計画事業費からの増減		減少または10%未満の増加	5	5	(前回事業費) 2.7億円 (今回事業費) 2.8億円 (増減率) 4%増	
		10%以上～30%未満の増加	3			
		30%以上の増加	0			
	計			20	20	
熟度	事業着手の熟度					
	地元のニーズ		文書要望あり	5	5	
			口頭要望あり	3		
			なし	0		
	関係自治体等との合意形成		合意形成が済んでいる	5	5	
			合意形成がなされる見込みである	3		
			合意形成がなされていない	0		
	事業の進捗状況					
進捗率		計画通り進捗している (100%以上)	10	5	78.6%	
		概ね計画通り進捗している (70%以上100%未満)	5			
		計画より遅れている (70%未満)	3			
		用地問題等で執行できていない	0			
	計			20	15	
合計				100	87	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		